

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月04日

計画の名称	安全で快適な魅力ある津山市水環境づくり（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	津山市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	800	A	800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を75%（H28）から76%（H31）へ増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	75%	76%	76%
2	処理場・ポンプ場におけるストックマネジメント計画策定率を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる。 処理場・ポンプ場におけるストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画策定済み処理場・ポンプ場数（箇所） / スtockマネジメント計画を策定すべき処理場・ポンプ場数（箇所）	0%	0%	100%
3	処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率を0%（H28）から33%（H31）へ増加させる。 処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率 長寿命化対策完了済み処理場・ポンプ場数（箇所） / 長寿命化計画策定済み処理場・ポンプ場数（箇所）	0%	0%	33%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	津山市	直接	-	終末処理場	改築	長寿命化対策事業(津山浄化センター)	ストックマネジメント計画策定	津山市						50	-	
	A07-002	下水道	一般	津山市	直接	-	終末処理場	改築	長寿命化対策事業(津山浄化センター)	長寿命化対策(水処理設備)	津山市						430	策定済	
		長寿命化																	
	A07-003	下水道	一般	津山市	直接	-	終末処理場	改築	長寿命化対策事業(勝北浄化センター)	ストックマネジメント計画策定	津山市						40	-	
	A07-004	下水道	一般	津山市	直接	-	終末処理場	改築	長寿命化対策事業(加茂町浄化センター)	ストックマネジメント計画策定	津山市						20	-	
	A07-005	下水道	一般	津山市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業(津山排水区)	雨水渠 W=1.0m~1.5m L=1.2km PG1基	津山市						120	-	
	A07-006	下水道	一般	津山市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業(津山排水区)	調査・設計等	津山市						10	-	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
津山市	R 3年3月
	公表の方法
	H P上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画策定及び長寿命化対策実施により、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化が図られた。 都市浸水区域における排水対策を進めた結果、内水氾濫被害の軽減が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続きストックマネジメント計画に基づく対策実施を行い目標達成を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	76%
	最終実績値	77%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	33%
	最終実績値	33%

内水氾濫被害軽減のため、計画を前倒して行ったことによる。